

田村市指定有形民俗文化財

こくぞうどう えま はんにくぼりきんぎょ ず ほか めん
虚空蔵堂の絵馬 (「半肉彫金魚の図」外1面)



寛文5(1665)年に虚空蔵堂に奉納された縦47㍍×横82㍍の工芸絵馬で、紀年銘がはっきりとしている絵馬の中では市内で最も古いものです。作者は不明ですが、半肉彫りの魚型に金粉を塗布し貼りつけてあります(写真上)。

天保11(1840)年に奉納された縦83㍍×横173㍍の絵馬「富士の巻狩の図」は2代目徳田研山好展が描いたもので、躍動感にあふれるスケールの大きな作品です(写真下)。